

統一選挙まであと1年！ 「月間東郷」通算135,000部達成しました。
いつもありがとうございます

月間東郷

www.togotetsuya.com



発行元：東郷てつや後援会

〒463-0072

名古屋市守山区 金屋2-181

T E L & F A X 052-791-2229

tztogo@ma4.jusutnet.ne.jp

2006年4月号 (No27)

この新聞はすべて手作りです。またボランティアの
皆様による手配りです。ぜひお読みください。 <後援会資料>

東郷てつや「教育改革」を訴える！

～グローバルな人材育成をめざして～

桜の満開の季節となりました。我が家も長男が小学校入学です。さて、今月号では「教育」について取り上げました。日本の基礎学力の低下が叫ばれています。

「教育改革」というと中高一貫など6・3・3制の見直しといった的外れな議論をされることがありますが、最大の原因は大学教育のあり方とその入試方法といえます。そこで今の教育のどこがダメでどういう風にしたらいいのか？という点で具体的に考えてみたいと思います。

戦後(今も)の教育というのは偏差値を基準とした画一的なものの見方によって学歴を重視し、過酷な受験戦争という社会問題を生みました。2002年文科省は、そうしたものを失くそうとでも思ったのか「ゆとり教育」という小手先の大失政を行いました。これによって日本の基礎学力は決定的に低下し、そればかりか休みの日は塾へ行き、お受験に拍車がかかったのと親の所得による教育環境の格差を生んだといえます。

資源のない日本では、高い基礎学力が必要となります。そしてグローバル化に対応する人材育成こそ最大の教育改革のポイントです。

まず、大学のあり方については、これまでの「就職予備校」でなくきちんとした研究機関としての機能を果たすことです。その受験の方法も単に知識の詰め込みでなく、論理的思考能力が試されるものとし、アメリカのように門戸を拡げ、いわゆる「入学しやすく、卒業しにくい」というシステムにすることです。

グローバルな人材育成という点では、以下取り組むべき課題をまとめました。

①まず英語は必須です。日本人のTOEICによる英語力というのはアジアの中でも最低レベルです。韓国や中国などでも英語は、すでに小学校のカリキュラムで導入していますし、国際語としてのコミュニケーション能力が求められます。(ほんとは公用語にしたほうがいい)

②また、単に語学ができればいいというのではなく、歴史教育、異文化理解が重要です。特にアジアとの関係を大切に、交換留学制度や学術、技術、文化、スポーツ交流を積極的に進めていくべきと考えます。

③日本は科学分野においても高度な技術がありますので、理数系科目においても世界水準の教育が必要です。またIT教育も義務教育で習得する必要があります。

教育は、政治の最重要課題であり、戦後教育を抜本的に見直し、新しい時代に相応しいものにしていかなくてはなりません。



東郷てつやのProfile

- 昭和46年4月17日生まれ
名古屋外国語大学卒(学生会長)
ユネスコの外郭団体で国際平和教育活動を行う
名古屋日中交流センター設立、理事長
- 衆議院議員秘書を経て
平成15年名古屋市議会議員選挙(守山区)にて
次点惜敗(6157票)
現在、リベラル政策研究会代表
- 政治信条 正義感、責任感、有言実行
- 趣味 テニス、ゴルフ、サッカー、野球、旅行、書道
- 家族 妻、二児(6才と0才)

(H.17.7.現在)



東郷 琢也

再生紙使用：「環境」に取り組みます